

パークde テント

大型テント設置に伴う
にぎわい創出の実証実験

事業報告

アンケート調査報告

まちなか未来Talk

まちなか未来Talk とは

松本市の商業ビジョンの一環として発足。
市民・事業者・行政が一体となって「まちなかの未来」を語り合い、
社会実験やプロジェクトを通じて具現化していく
市民共創の対話とトライアルの場 です。

私たちが目指す姿

- 行政主導ではなく、市民・事業者・学生が共に創る「まちなかの未来」
- 一過性のイベントではなく、「声 → 実験 → 検証」の循環をつくる。
- 松本駅前（えきしろ空間）を「みんなの広場」として再定義し、
にぎわいを創出。

花時計公園をえきしろ空間のにぎわい拠点に！

現状の課題

日射・雨天対策が不十分

屋外空間のため天候に左右されやすく、快適性の確保が難しい
→ 全天候型テント設置の必要性

滞在性の不足

ベンチや日陰が少なく、「通過空間」になりがち
→ 長時間滞在につながる仕掛け（飲食、イベント、アートなど）が求められる。



R7年度事業として

約1ヶ月の全天候型イベントテントの設置します

花時計公園をえきしろ空間のにぎわい拠点に！

イベントテント設置概要

- 期間：2025年10月8日（水）～11月18日（火）
- 会場：花時計公園（中央西公園）
- 設備：10m×10mの全天候型テント 2張り設置
- 主催：まちなか未来Talk（松本市 商業ビジョン連携）
- 音響：スピーカー2台 （マイク1本）

※公園緑地課企画：人工芝マット設置

協力：株式会社山添シート内装（テント設置） 山田電器店（音響）
株式会社アルガオートサービス（キッチンカー取りまとめ）



花時計公園をえきしろ空間のにぎわい拠点に！

🌸 期間中に花時計公園で開催されたイベント

- 10月12日（日） 松本城下町天空マルシェ
- 10月18日（土） 松本市スポーツフェスティバル
- 10月21日（火） 松本市若者参画課 事務所オープンDay
- 10月23日（木） ママフェスまつもと Machikaraマルシェ
- 10月26日（日） 松本深志ライオンズクラブ ハロウィンイベント
- 11月1日（祝日） インクルーシブフェスタ フリーマルシェ
- 11月3日（祝日） フリマネット信州 松本市民祭フリーマーケット
- 11月15日（土） 松本市立鎌田中学校3年2組 KMDフェス
- ※水曜日（5回） まちなか未来Talk 花時キッチン

期間：2025年10月8日（水）～11月18日（火）

まちなか未来Talk企画

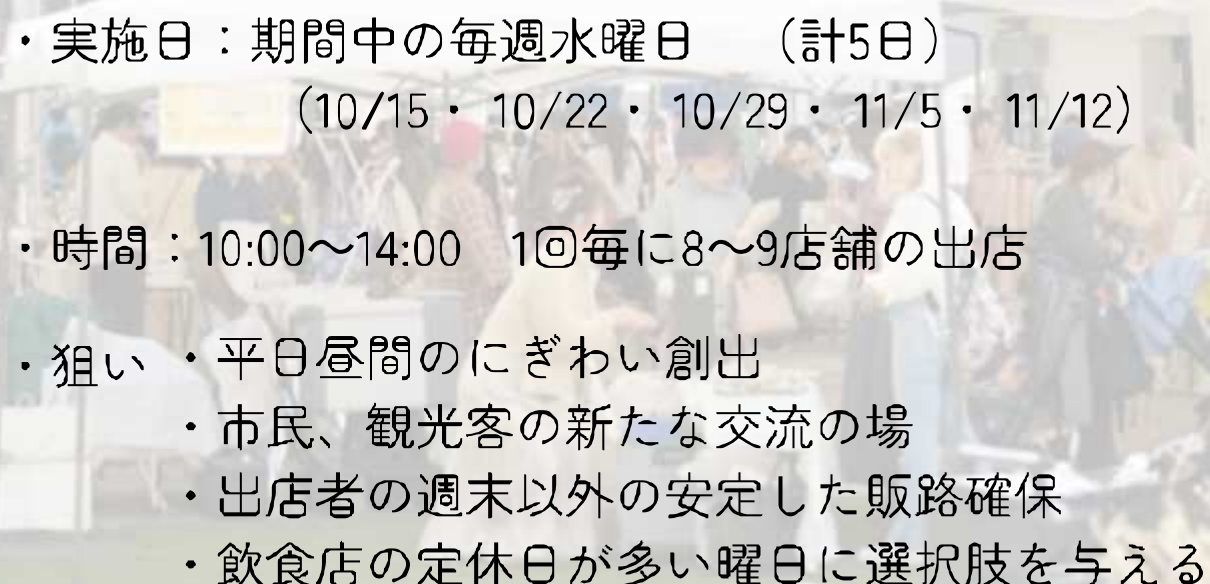
水曜日に松本周辺地域で活躍するキッチンカーが花時計公園に集結。
中心市街地のランチタイムに彩りと賑わいを創出

企画名称



HANADOKI

KITCHEN

- 
- ・実施日：期間中の毎週水曜日（計5日）
（10/15・10/22・10/29・11/5・11/12）
 - ・時間：10:00～14:00 1回毎に8～9店舗の出店
 - ・狙い
 - ・平日昼間のにぎわい創出
 - ・市民、観光客の新たな交流の場
 - ・出店者の週末以外の安定した販路確保
 - ・飲食店の定休日が多い曜日に選択肢を与える



イベント広報について

投稿例



Instagram

投稿回数：48回
閲覧数：9.2万
リーチ：12,389
フォロワー：513



参考記事



メディア露出
(未来Talk取材対応分)
信濃毎日新聞2回
市民タイムス2回
テレビ信州1回





来場者アンケート報告

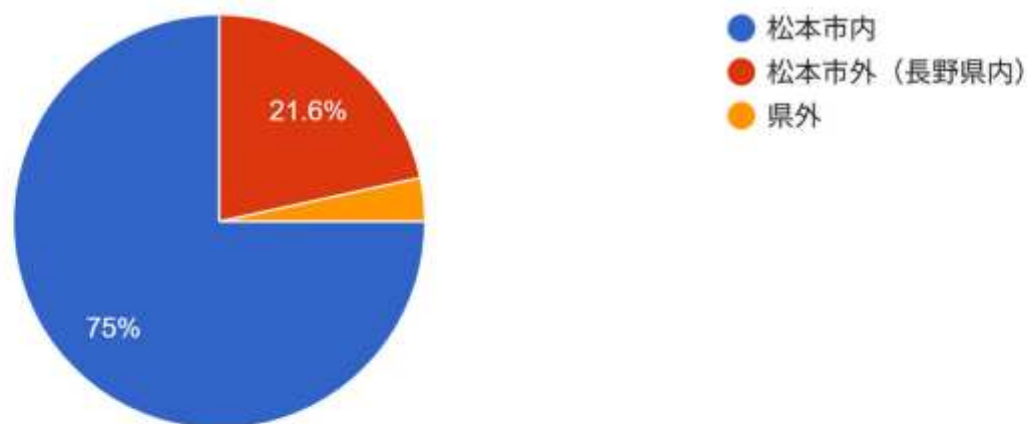
実施期間：10月8日～11月18日

回答数：89件

アンケート取得方法：Googleアンケート

あなたのお住まいを教えてください

88件の回答



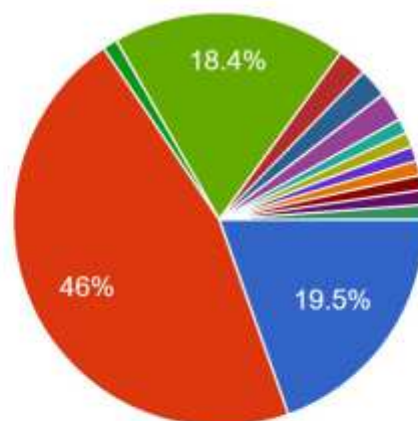
中心市街地の真ん中にある花時計公園の性質上、県外観光客も回答見られるが、本事業は市民の関心が高いことが伺える。また期間中には一部県内の視察をされた行政や商工団体もあった為、にぎわい創出の方法を模索している地域にとっても関心が高いコンテンツとなった。



来場者アンケート報告

本日ご参加のイベント名を教えてください

87 件の回答



- 毎週水曜日開催：花時キッチン
- 10/12：天空マルシェ
- 10/18：松本スポーツフェスティバル...
- 10/23：Machikaraマルシェ
- 10/26：ハロウィン子ども食堂
- 11/1：インクルーシブフェスタ2025
- 11/3：松本市民祭フリマ
- 11/15：KMDフェス

▲ 1/3 ▼

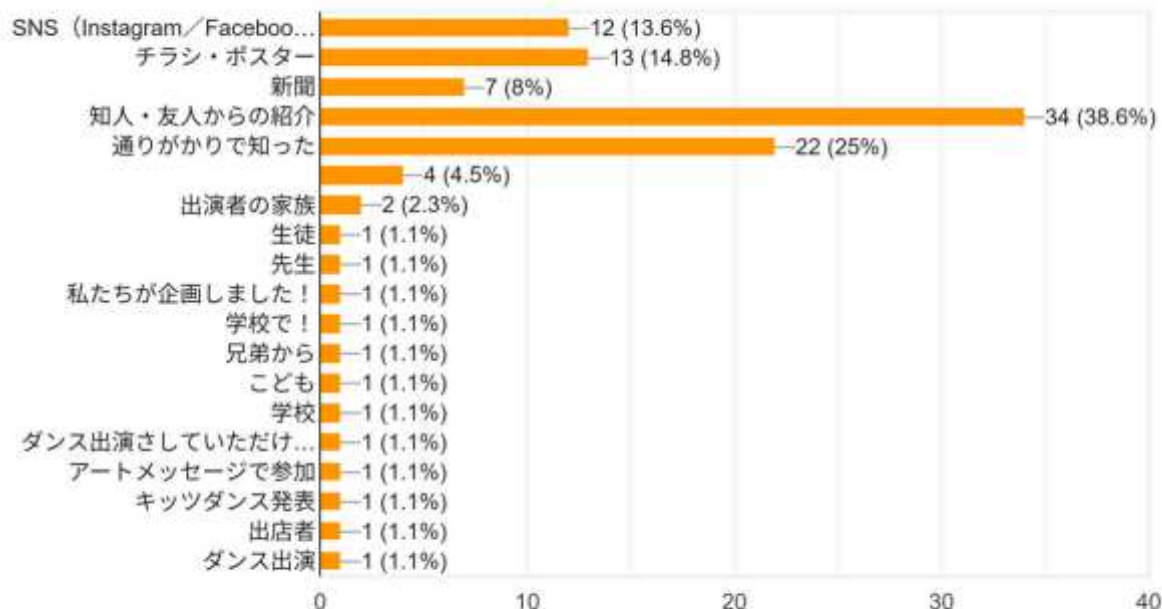
集客力が高いイベントに加え、未来Talk関係者が当日にアンケート依頼をおこなったイベントは回答数が多い。インタビューをしてみると、会期中に1度ではなく複数回花時計公園に訪れた市民も多いことが分かった。



来場者アンケート報告

今日のイベントを知ったきっかけは何ですか？（複数選択可）

88件の回答



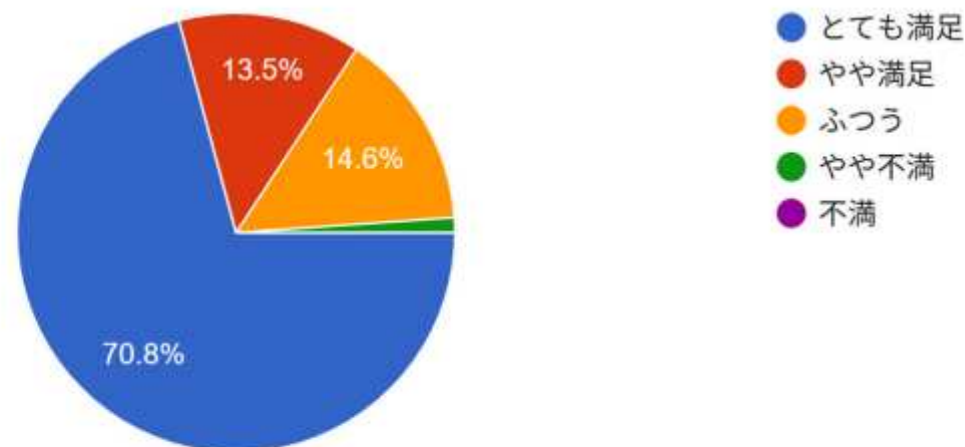
公式SNSの発信とイベント毎に制作されたチラシやポスターの集客力も効果があった。顕著であったのは「紹介」であった。出店者個人のSNSアカウントや主催者の口コミでの訴求効果が強くあった。通りがかりについては、えきしろ空間の重要な拠点であることを示していることも窺える。



来場者アンケート報告

大型テント（屋根）の満足度を教えてください

89 件の回答



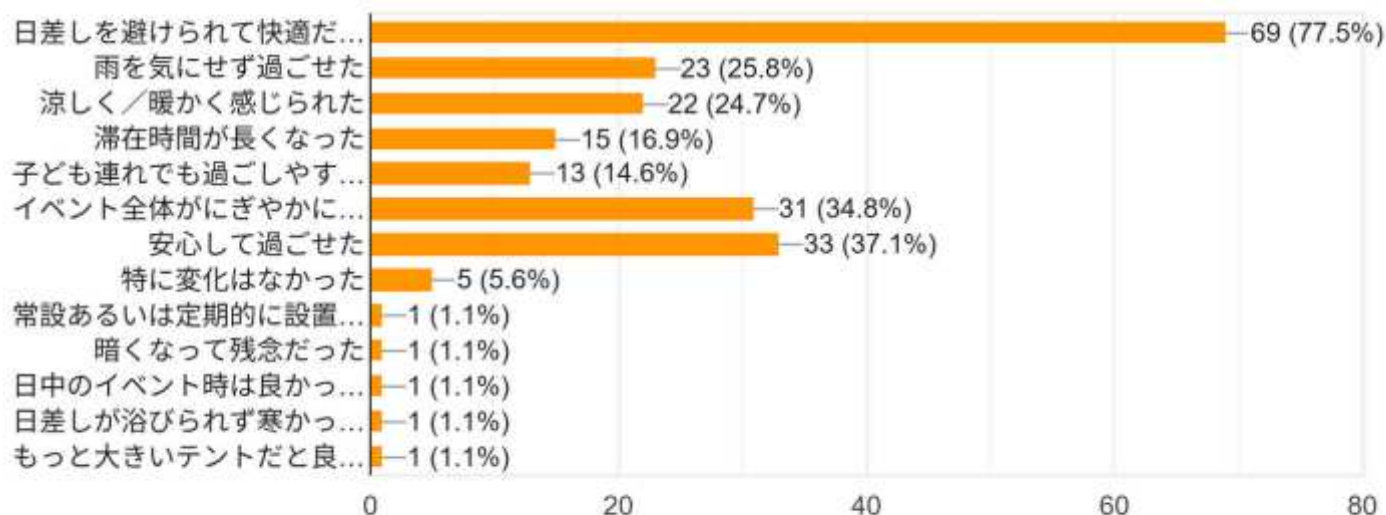
公園を訪れて、このテントを利用した方々の評価は「とても満足」「やや満足」を含め約8割となった。晴れの日はもちろん日差しを避けることも出来たが、期間中は10月26日のハロウィーン子ども食堂と11月3日のフリーマーケットの日に雨が降った。雨のみならず、風もしのげる大型テントは安心感があったことが想像出来る。



来場者アンケート報告

大型屋根（テント）があることで、どのように感じましたか？（複数選択可）

89 件の回答



満足度の解説にあった通り、利用者の8割弱は日差しを避けることが出来て快適であったと回答。

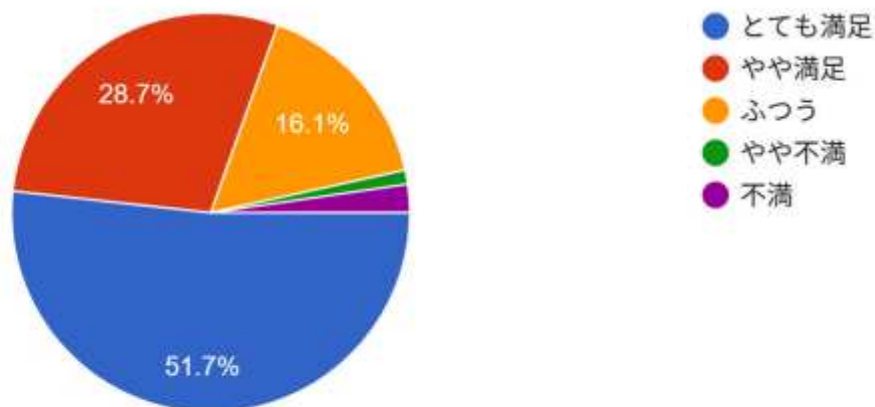
各主催者の出店ブースの工夫もあり、参加者は賑わいを感じる機会が期間中多くあった。また雨を気にせずに過ごすことが出来たという意見もあり、総じて屋根のある全天候型のイベントスペースとしての安心感や滞在時間が伸びるという声も聞かれた。一方で少数だが、イベント開催時間外（夜）の利用課題や日差しが浴びられず寒いという声もあった。ニーズが高まる春先から秋など適切な時期に設置をすることで満足度はさらに向上する余地がある。



来場者アンケート報告

花時計公園に人工芝を設置しましたが、公園の雰囲気やくつろぎやすさについて、満足度を教えてください

87 件の回答



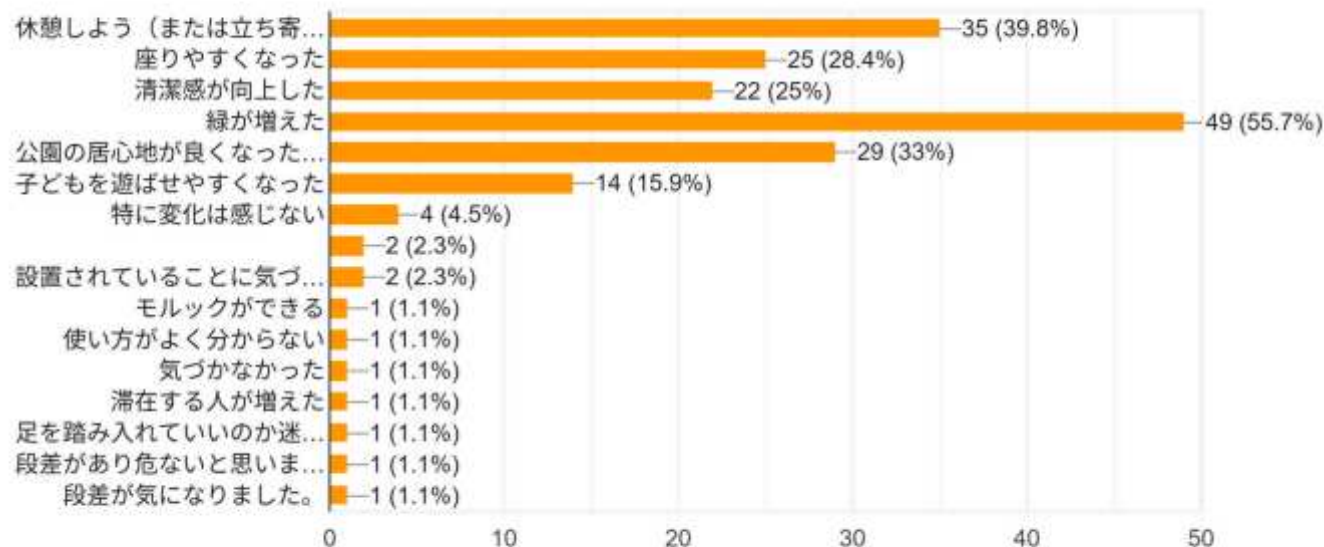
9月中旬に市が公園を魅力的な公共スペースにする再整備の一環で、花時計公園には人工芝マットが約150平方メートル設置された。期間中に開催されたイベントでもこの人工芝が主にステージとなったり、子どもの休憩スペースになったり、多様な用途で使用された。人工芝を敷いたことについても満足が約8割を締めており、今後の公園の使い方にも幅が増えたと考えられる。



来場者アンケート報告

人工芝を設置したことで変化したと感じることをお選びください（複数回答可）

88 件の回答



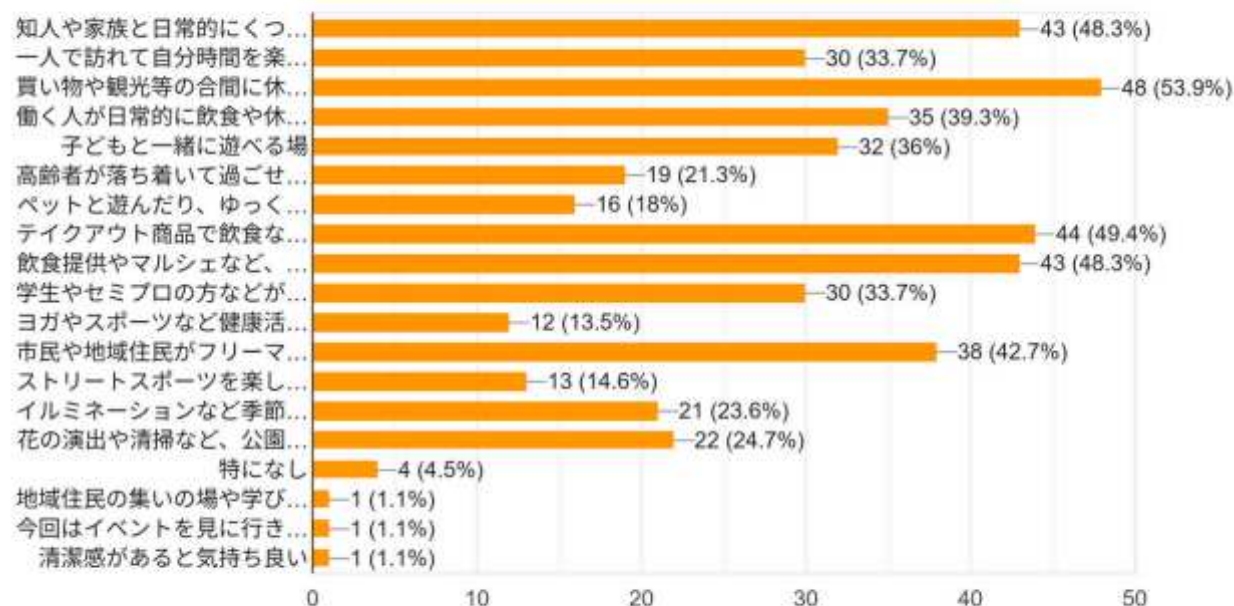
人工芝マットが設置されたことで、「緑が増えた」「居心地の良さ」「立ち寄りやすくなった」など、花時計公園が市民の目に留まるようになった。特に中心市街地は緑被率が低いという町全体の課題もある為、市民は憩いの場を求めていることもアンケート結果から推測が出来る。
子どもを遊ばせやすくなったという意見もあるため、さらに安心安全な利用を促進するためにも敷地内に留まらず周囲の道路状況を含めて、検討が必要である。



来場者アンケート報告

今後、花時計公園はどのような場（過ごし方、雰...等）になると良いと思いますか？（複数回答可）

89 件の回答



重複回答の中でも「買い物や観光の間に立ち寄れたり会話したくなる空間」「テイクアウト商品で飲食など周辺店舗と一体となった空間」「マルシェなどの楽しみを創出する空間」など、「憩いの場」「イベントスペース」としての利用を想定した回答数が多かった。中心市街地の公園としてニーズを実現させる為に必要なリソースを改めて行政、主催者、利用者の意見を聞きながら議論し、今後のあるべき姿より鮮明にすることが大切である。



出店者・主催者 アンケート報告

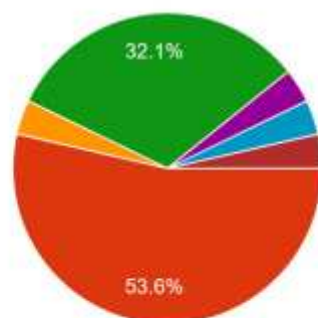
実施期間：10月8日～11月18日

回答数：28件

アンケート取得方法：Googleアンケート

イベント名を教えてください

28件の回答



- 毎週水曜日開催：花時キッチン
- 10/12：天空マルシェ
- 10/18：松本スポーツフェスティバル
- 10/23：Machikaraマルシェ
- 10/26：第4回ハロウィンこども食堂
- 11/1：インクルーシブフェスタ2025
- 11/3：空きの松本市民祭フリマ
- 11/15：KMDフェス
- 若者参画課オープンデー

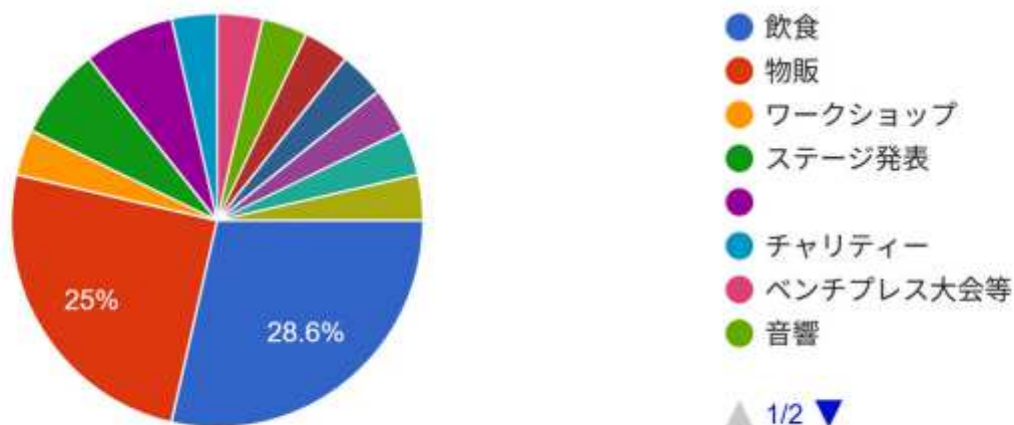
期間中に開催された全てのイベント主催者にアンケートを依頼し回答を得ることが出来た。運営、設営についてや、賑わいを創出する側として思うこと、今後の花時計公園の利活用について確認することで、より賑わい発信をしやすい仕組み作りや、公園整備する際に優先すべき点に対して参考にしていきたい。



出店者・主催者 アンケート報告

出展内容を教えてください

28件の回答

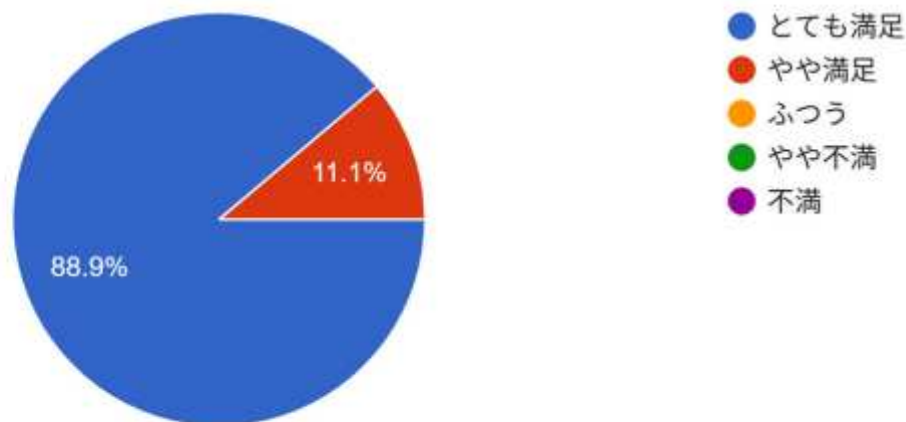


出店者の53%は飲食や物販をおこなう事業者。飲食については、キッチンカーが中心と物販についてはマルシェ出店者であった。毎水曜日に行われた花時キッチンには約8~9のキッチンカーが軒を連ねた。中にはこのイベントの為に特別メニューを考案してくれた店舗もあった。物販については各々が決められた場所とレイアウトで販売をおこない賑わい創出に花を添えてくれた。



出店者・主催者 アンケート報告

大型テント（屋根）の満足度を教えてください
27 件の回答



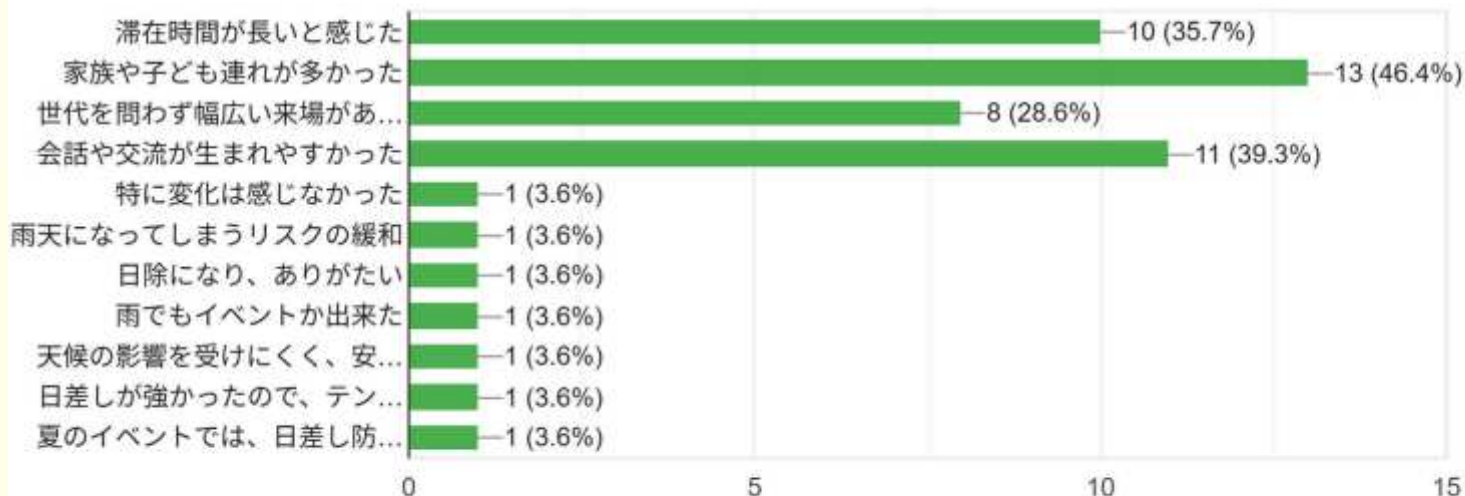
とても満足、やや満足で100%であった。詳細は次頁で詳しく触れるがイベント主催者側がイベント会場について気になるのが来場者数と安全配慮である。大型テントがあることで、この2つの気になることが少しでも改善された結果「満足」に繋がったのではないかと推測される。



出店者・主催者 アンケート報告

大型屋根（テント）があることで、出展のしやすさ...来場者の様子にどのような変化がありましたか？

28件の回答

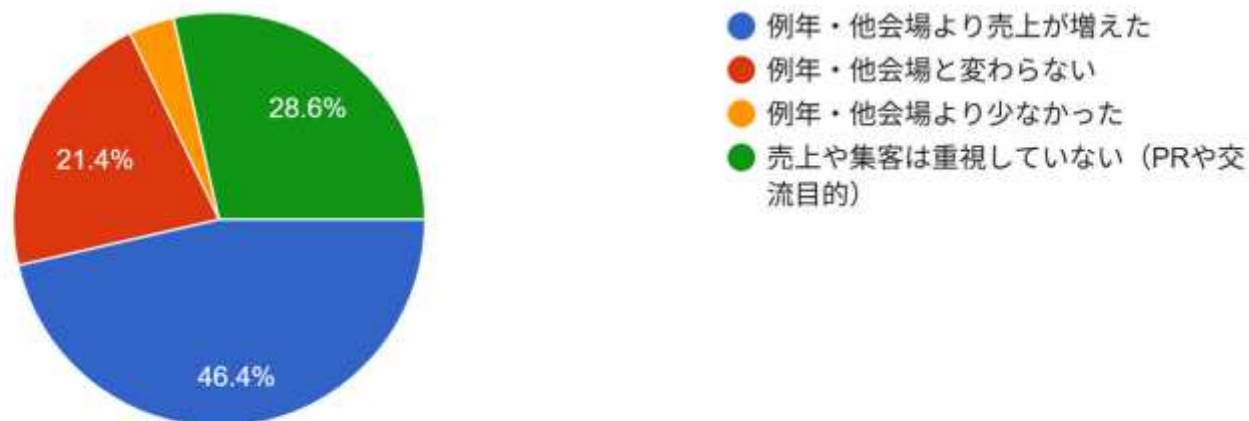


主催者側も来場者層（家族や子ども連れ）の多様化と増加について印象に残ったという結果出た。また続けて、滞在時間が長いこと、会話や交流が生まれたことも多くの事業者が変化があったと答えている。中心市街地に魅力あるコンテンツが増えることで、まちを訪れる世代や層に厚みが出てくると賑わい創出にも一定の成果ができることが分かる結果となった。



出店者・主催者 アンケート報告

本日の売上やPR効果について教えてください
28件の回答



賑わいだけでなく、事業者として大切な売上げについて質問をしたところ、回答者の46.4%が売上げが増えたと回答した。キッチンカーについては、日々賑わう場所を探しており、特に平日はイベントも少ない為、花時キッチンの出店募集したところ、多くの応募がありすぐに集まった。全5回おこなったが、回を重ねる毎に来場者が増えていったことも肌で感じた。マルシェの出店者も全ページで報告をしたとおり、来場者の増え、滞在時間が増え、交流が生まれたことが消費に繋がったと推測される。



出店者・主催者 アンケート報告

Q：自由記述

出展者の立場から見て、公園に今後あったら良い設備・工夫があれば教えてください。（例：電源・水道・搬入経路・駐車場・広さ・テント常設 など）

- 1位：駐車場の確保・拡充 ... 9件
- 2位：大型テントの常設・日除け機能 ... 8件
- 3位：電源・水道などインフラ整備 ... 7件
- 4位：机・イス・ベンチなど滞在設備 ... 4件
- 5位：搬入経路・搬入スペースの拡張 ... 3件

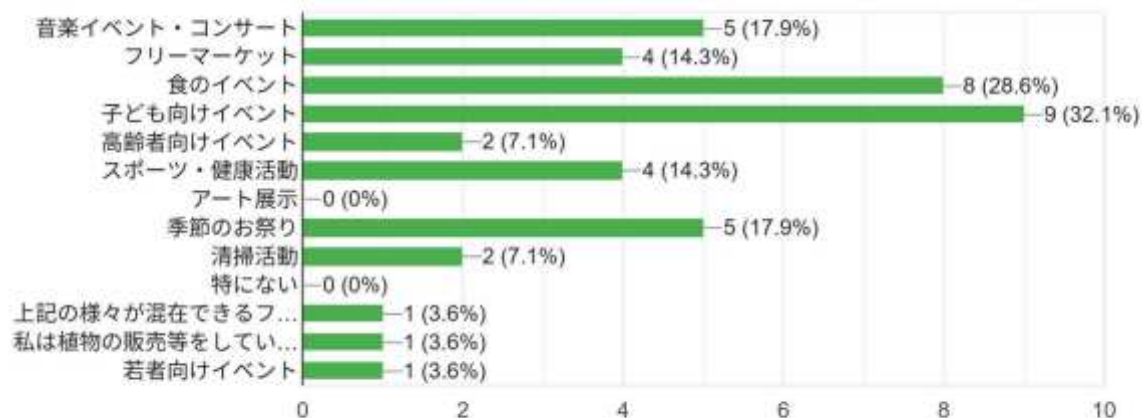
出店者アンケートでは、「駐車場の確保・拡充」が最も多い要望となった。来場者および出店者双方にとってアクセス条件は重要であり、無料駐車場の設定や近隣駐車場との連携が求められている。次点は「大型テントの常設」で、天候に左右されない販売環境の確保と、設営負担の軽減が評価されており、日陰の確保は飲食・物販の双方に必須である。三位は「電源・水道・排水といったインフラ整備」で、特に飲食事業者から強いニーズが見られ、安全性と衛生管理上欠かせない基盤である。続いて「机・イス・ベンチの設置」が挙がり、来場者の滞在を促す設備として期待される。五位は「搬入経路やスペースの改善」であり、出店オペレーションの効率化に関わる重要な論点となる。これら上位5項目は、今後の花時計公園の方針の検討に不可欠な指標となる。



出店者・主催者 アンケート報告

今後、中心市街地のにぎわい創出のために、どの...自身に関わりたいと思いますか？（複数回答可）

28件の回答



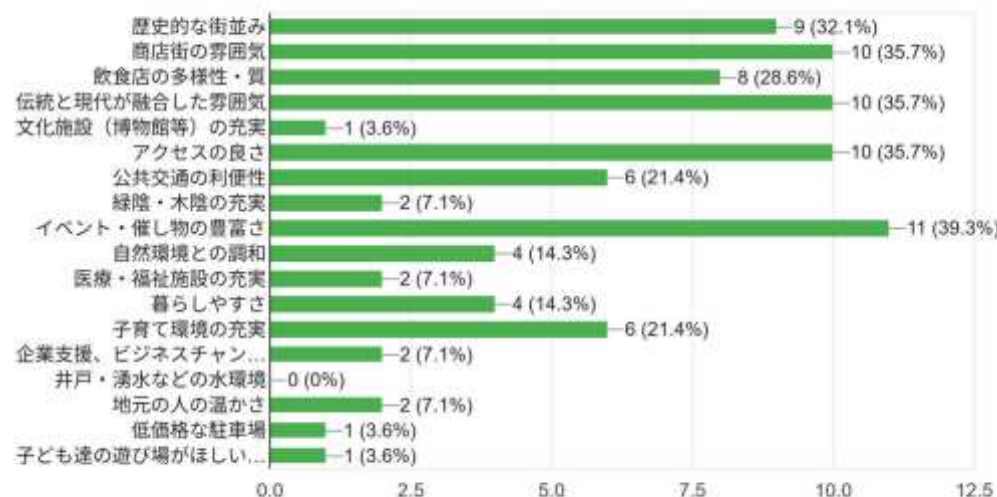
「子ども向けイベント」が最も多く挙げられた。子育て世代の回遊性向上や家族で楽しめる企画への期待が高く、駅前空間が多世代の交流拠点として機能することが求められていると言える。次いで「食のイベント」が多く、飲食を通じた滞在促進と地域の食文化発信に対する関心が強いことが確認できた。また、「音楽イベント・コンサート」や「季節のお祭り」など、文化的・季節性のある催事への参加意向も高く、まちなかが年間を通じてイベントを受け入れる舞台であることへの期待がうかがえる。フリーマーケットやスポーツ・健康活動といった市民が主体的に関わる活動も複数挙げられており、中心市街地が多様な用途に応える柔軟な場として求められていることが明らかである。



出店者・主催者 アンケート報告

今後、中心市街地をより魅力的にするために必要だと思うことをお選びください（3つまで）

28件の回答



アンケート結果では、「イベントや催し物の豊富さ」が最も多く選ばれ、中心市街地に人を呼び込み、滞在を促す継続的な企画が強く求められていることが示された。次いで「商店街の雰囲気」「伝統と現代が融合した雰囲気」「アクセスの良さ」が同程度に高く、回遊しやすい都市機能と松本らしい文化的魅力の双方が重視されている。また、「歴史的な街並み」も多く選ばれ、地域固有の景観や物語性がまちなかの価値を高める要素として認識されている。これらの傾向から、中心市街地の魅力向上には、利便性と文化性を併せ持つ空間づくりに加え、人々が関わり続ける多様なイベントの充実が不可欠であるといえる。



まとめ

パークdeテントの実証により、花時計公園は単なる公園機能にとどまらず、中心市街地における“市民参加型イベント広場”として極めて高い潜在力を有することが明らかとなった。大型テントや人工芝の整備によって、天候に左右されず滞在できる空間が形成され、子ども向け企画、スポーツ、食、音楽など多様なイベントが自然に重層化し、市民の回遊と滞在を促す拠点として機能した。また、今回の実証では、本来は複数部署にまたがり煩雑であった利用申請を“ワンストップ申請”へと統合したことで、主催者側の負担が大幅に軽減され、まちなかの広場を「使ってみよう」と思える環境が整ったことも大きな成果である。一方で、駐車場、電源・水道、搬入動線といった基盤整備の要望が多く、現状のままでは潜在力を十分に発揮できない課題も浮き彫りになった。以上を踏まえ、花時計公園は従来の公園としての役割に加えて、制度的にも“まちなかのイベント広場”として位置づけ、恒常的な利活用ルールと基盤整備を進めることが、中心市街地の持続的にぎわい創出に不可欠である。